

はじめに

昭和24年(1949)1月、の法隆寺金堂の火災により壁画が焼失したことを契機に、文化財を保存し、その活用を図ろうとする機運がいつそう高まり、翌年の昭和25年(1950)5月、文化財を保存し、且つその活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする文化財保護法が制定されました。それを受けて、都道府県や市区町村においても文化財保護条例などが作られ、武蔵野市では昭和45年(1970)4月に文化財保護条例が制定されました。そして武蔵野市では、昭和46年(1971)4月に「旧関前村名主役宅」ほか6件の文化財が武蔵野市指定文化財になり、以降、令和5年度までに40件の文化財が武蔵野市指定文化財の指定及び登録を受けています。また、武蔵野市内には、国指定文化財、国登録有形文化財、東京都指定文化財があります。武蔵野市内の文化財は、主に先人たちの生活の証であり、遺産です。その種別は、有形文化財、無形民俗文化財、有形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物からなり、バラエティに富んでいます。

本書は、武蔵野市内の文化財のうちから、井の頭自然文化園に生息する国天然記念物を除いた解説書です。本書を通じて、多くの皆様に武蔵野市内の文化財を知っていただき、武蔵野の先人たちの足跡を末永く後世に伝えとともに、市民の皆様には郷土武蔵野に対する認識を高め、文化の向上に活用していただけたら幸いです。

令和6年3月31日

武蔵野市教育委員会

目次

はじめに	03
目次	05
指定有形文化財(19件)	
旧関前村名主役宅	06
延命寺の護摩炉	07
安養寺の梵鐘	08
井口家古文書	09
月窓寺観音堂の乾漆造白衣観音坐像	10
観音院の来迎阿弥陀如来像	11
武蔵野八幡宮の蕨手刀	12
井野家古文書	13
河田家古文書	14
榎本家古文書	15
村絵図と野帳(2件)	16
井口家の高札	17
御門訴事件記念碑(倚錘碑)	18
仙路翁墓碣碑	19
武蔵野八景碑	20
秋本家文書	21
御殿山遺跡第2地区N地点出土 縄文時代草創期資料	22
平野家文書	23
指定無形民俗文化財(1件)	
むさしのばやし	23
指定有形民俗文化財(9件)	
民間信仰資料(4件) 小林家の民間信仰資料	24
高橋家の民間信仰資料	24
岡田家の民間信仰資料	25
秋本家の民間信仰資料	26
稲荷神社の絵馬	27
岡田家の民間信仰資料「だらにすけの看板」	28
安養寺の甲辛(庚申)供養塔	29
更新橋の庚申塔	30
境南町の庚申塔	31
指定史跡(1件)	
杵築大社の富士山	32
指定天然記念物(8件)	
成蹊学園のケヤキ並木	33
井口家のサンシュユ	34
杵築大社の千本イチヨウ	35
源正寺のイヌツゲ	36
高橋家の大ケヤキ	37
井口家の大ツバキ	38
竹内家のカキの木	39
「ふじの実保育園」のフジ	40
登録天然記念物(2件)	
吉野家の大ケヤキ	41
伊藤家の大ツバキ	42
国・都指定文化財、国登録有形文化財	43

[凡例]

- ・本書は、『武蔵野市の文化財』（武蔵野市教育委員会、平成19年11月15日第9版発行）をもとに加筆修正したものである。
- ・本書の中で天然記念物の樹木の寸法は、武蔵野市指定文化財指定・登録時のものを記している。
- ・西久保村の名称については、資料上で「西窪」と記されているものを除いて、「西久保」に統一して表記した。